

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	本人の日頃の様子などを家族に伝えることが十分とはいえない。	本人の日頃の状態や様子について、変化があった時だけではなく、もっと頻度多く伝えることで家族も安心することが出来る。	①面会の頻度に限らず、SNS(LINE等)の活用により日頃の様子を伝える方法を増やす。 ②面会時に本人の近況を伝える際、口頭だけではなく、画像(写真)や動画を見てもらうことで知ってもらうようにする。 ③面会方法の検討を行う。	3ヶ月
2	1	家族とのやりとりについて面会時などに行っているが、面会の頻度にはそれぞれ格差があり、家族の意見や感じていることなどを十分に聞き取れていない可能性がある。	家族の意向・思いを十分に聞き取ることが出来る、それを本人の支援に活かすことが出来る。	①家族の関係性をより強化出来るように面会時等や上記の入居者状況を伝える時等にやりとりを多く行うようにする。 ②3か月に1回のお便り配布時にアンケートを入れて、意見や満足度調査を行う。	6ヶ月
3	2	災害対策において、地域との協力体制が十分とは言えない。	地域の消防団との連携体制の構築を図る。	①運営推進会議に参加されている地区の自治会長を通して消防団の方との顔づくりを行い、連携を図っていく。 ②火災時等に協力してもらう際に円滑になるよう、地区の消防団の方にこでまりの中を見学してもらい、建物の構造を理解してもらう。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。